

第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管	文化観光	局	博物館	部	みはら歴史博物館	課
項目	2-11	みはら歴史博物館の管理運営手法の見直し				
実施内容	みはら歴史博物館はホールを併設した複合施設として、展示施設はもとより、地域住民のコミュニティの場としても提供しているが、館の活性化及び効率的な運営に向けて検討する。					
目標	・来館者数の向上 平成24年度 11,924人 ⇒ 平成29年度15,000人					
工程	当初予定	26年度	27年度	28年度	29年度	
		館の活性化を図るため、学校等に働きかけを行い、郷土の歴史学習の発信を行う ボランティアおよび他機関との連携を強化し、魅力的なイベントを開催する アンケートによる利用者ニーズの調査と定期的な認知度調査を実施する 館の運営にかかる経費や修繕経費など、ランニングコストの分析を行う 館の効率的な管理運営手法の検討を行う 関係機関への意見聴取を行う	前年度実施の利用者ニーズを踏まえたイベントを実施する			
進捗状況 (実績・見込)		26年度	27年度	28年度	29年度	
		ボランティアおよび他機関との連携を強化し、魅力的なイベントを開催する 市博物館等との連携のうえ学校等に働きかけを行い、特に子どもの集客増を図る 関係機関との連携により、館の認知度向上に向けた宣伝強化に努める ランニングコストの分析を行うとともに、館の効率的な管理運営手法の検討を行う 関係機関への意見聴取を行う		館の効率的な管理運営手法の決定及び実施に向けた事前準備を行う	館の効率的な運営開始	
数値目標	入館者数	見込	26年度	27年度	28年度	29年度
		実績	16,000人	17,000人	18,000人	19,000人
実績	A	(平成26年度) ・ボランティア等市民との協働による展示事業や体験事業のほか、ホールを活用したコンサートの開催 ・他の文化施設との連携による子どもや新成人等を対象とした集客促進事業の実施 ・公共交通機関や観光施策等との連携強化による、館の認知度向上と集客促進に係る取り組みの実施。以上により、年間入場者について22,856人(目標15,000人)を達成 ・利用者サービス向上及びコスト見直しの観点から、効果的効率的な館運営について検討に着手				
		単年度の効果額見込及び実績	見込	26年度	27年度	28年度
評価	26年度	見込	—	—	—	—
		実績	150万円			
課題	A	①自主事業の拡充や館運営の効率化の検討調整に向けた体制の強化 ②館の効率的運営にかかる関係団体や関係課等との調整				
		①:市博物館を含む局内での協議や関係課への要望を通じ、必要とされる人員の確保に努める。 ②:検討作業と並行し、関係課とも協議の上、市方針を取り纏める。また市の方針に一定の目途が立った時点で、関係団体等との調整を行う。				
評価基準	A:目標を上回って達成 B:目標を概ね達成 C:未達成					
備考	平成26年度に目標人数を達成したため、数値目標を変更しております。					